

XENYX CONTROL2USB

High-End Studio Control and Communication Center with
VCA Control and USB Audio Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

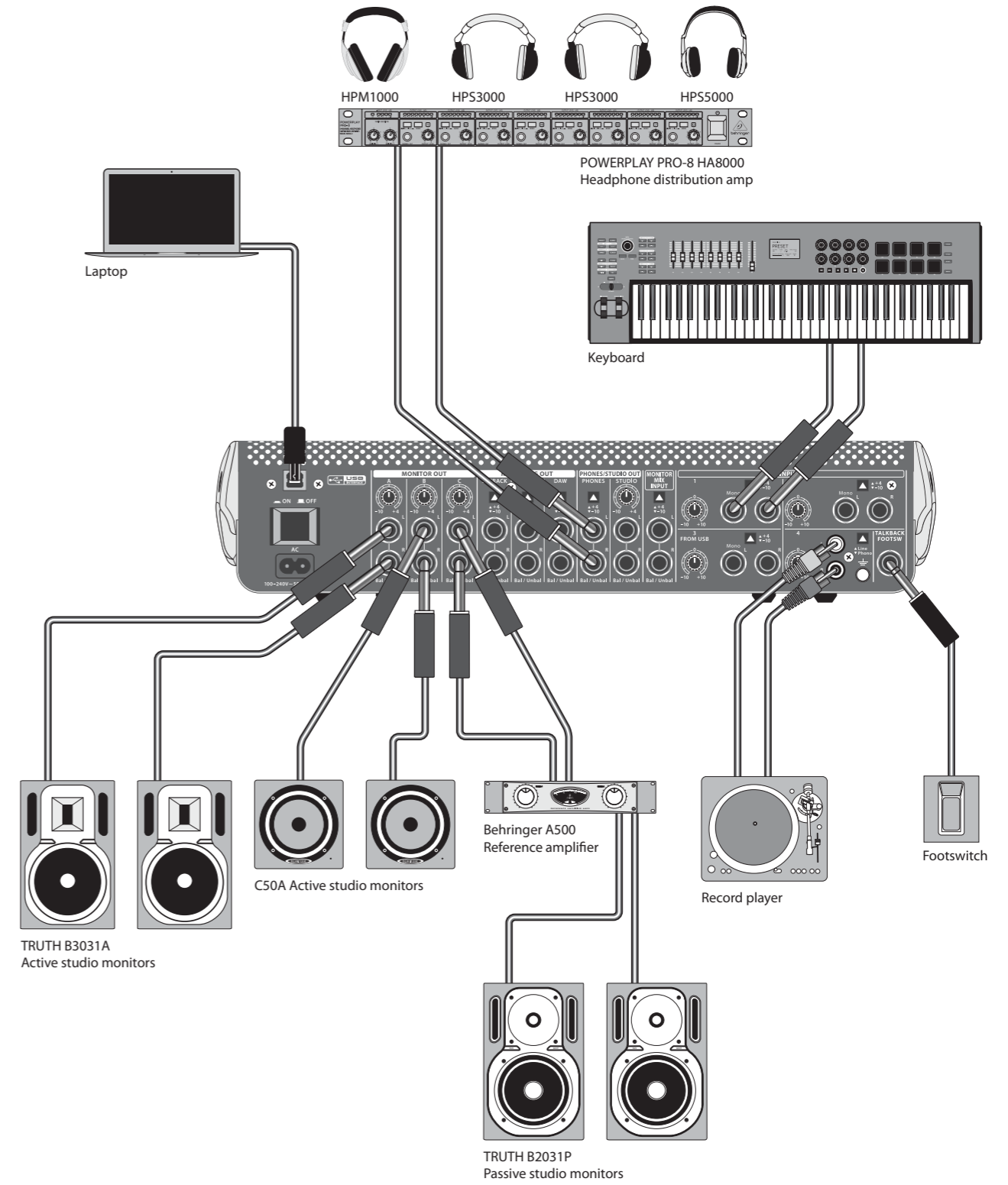
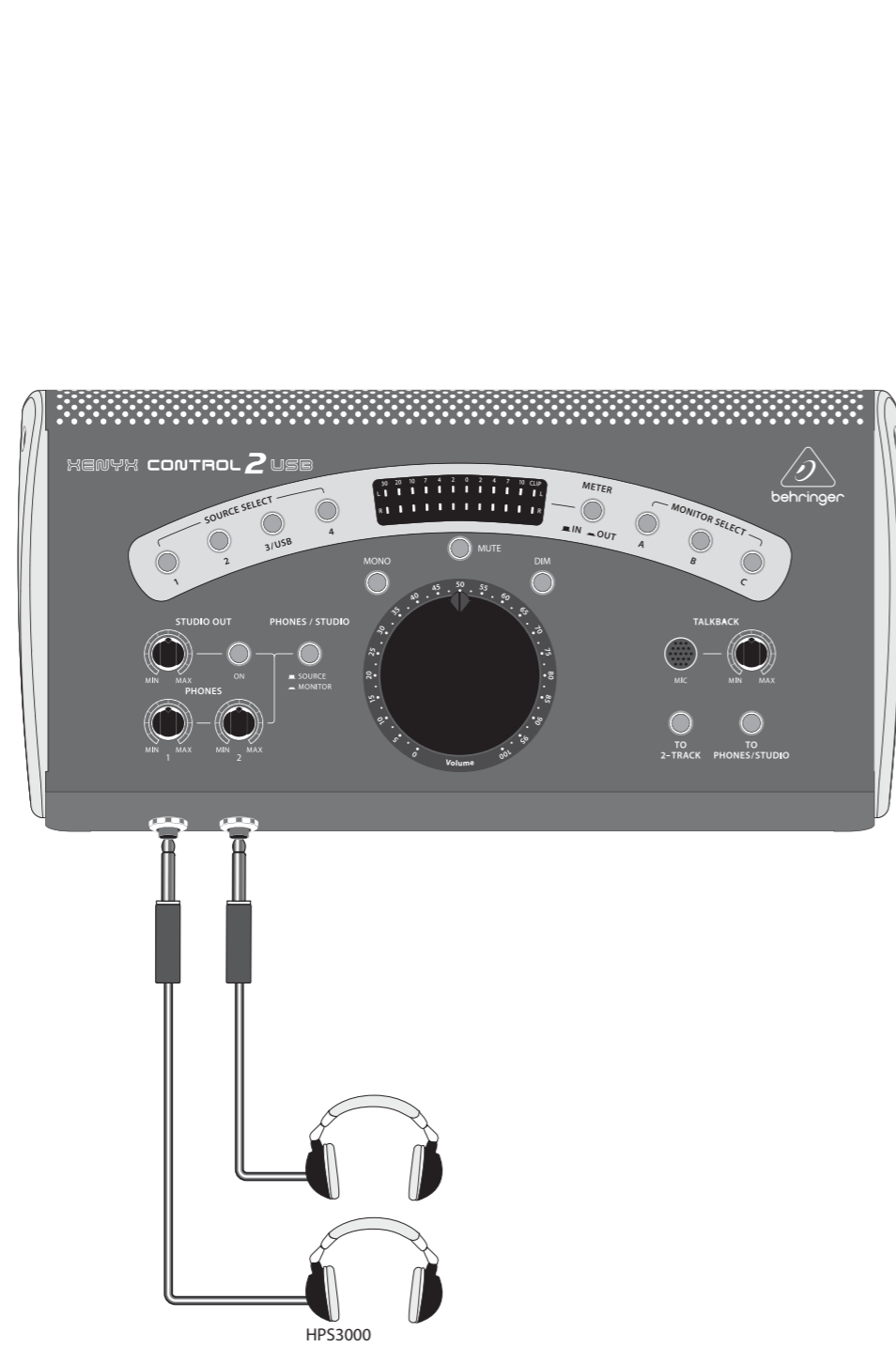
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

XENYX CONTROL2USB フックアップ

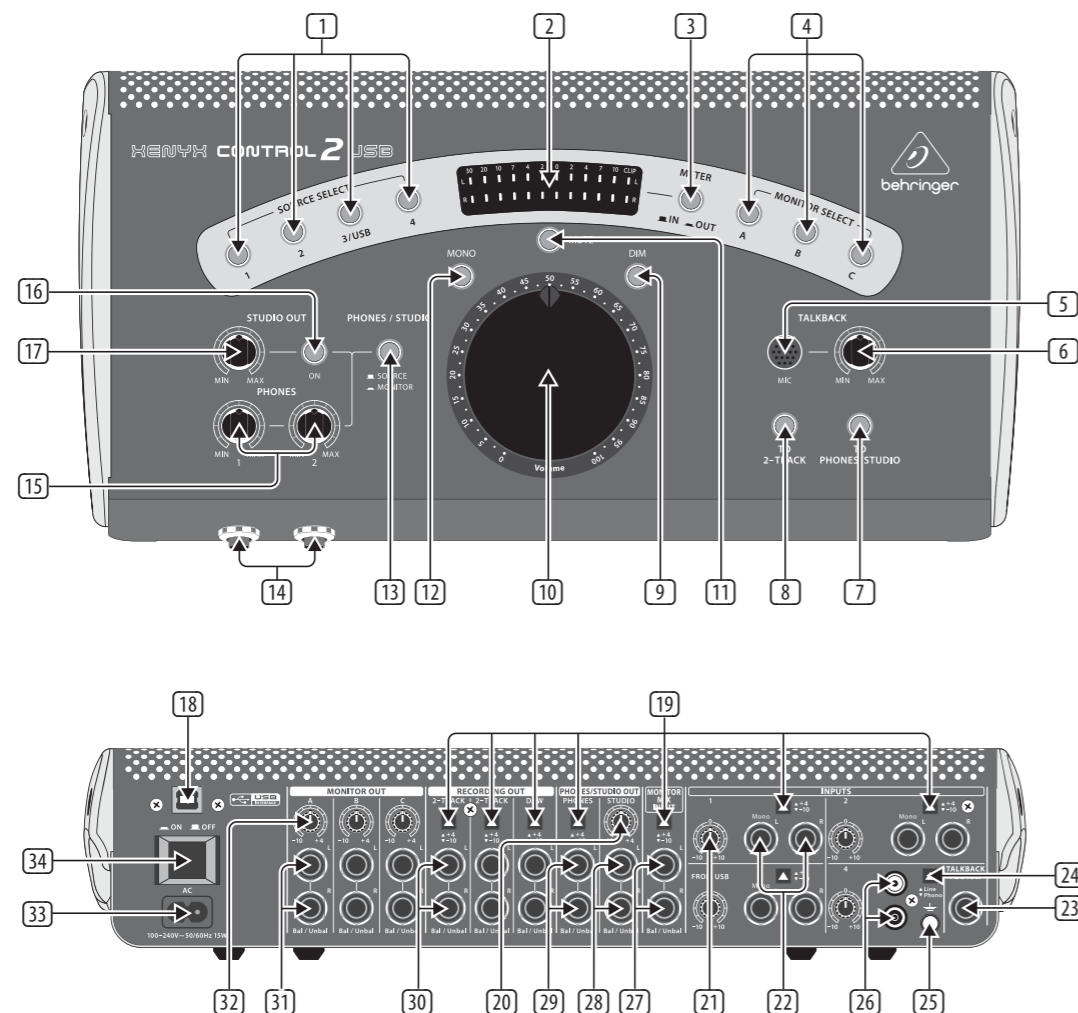
ステップ 1: フックアップ



XENYX CONTROL2USB コントロール

JP

ステップ 2: コントロール



- 1 **SOURCE SELECT** ボタンは入力ソースを背面パネルのどの出力にルーティングするかを決定します。
- 2 **LEVEL METERS** は接続されたステレオソースの入力または出力信号の強度を示します。
- 3 **METER** スイッチは、入力または出力信号のどちらをレベルメーターに表示するかを決定します。
- 4 **MONITOR SELECT** は A、B、C の出力に接続されたスピーカーをアクティブまたは非アクティブにするかを設定します。
- 5 **TALKBACK** マイクは、PHONES/STUDIO OUT 出力あるいは RECORDING OUT 出力にマイク信号を送ります。
- 6 **TALKBACK LEVEL** ノブは TALKBACK マイクのゲインを調整します。
- 7 **TO PHONES/STUDIO** ボタンは PHONES と STUDIO 出力に TALKBACK マイク信号を送ります。
- 8 **TO 2-TRACK** ボタンは 2-TRACK A、B、DAW 出力に TALKBACK マイク信号を送ります。
- 9 **DIM** スイッチはモニター A、B、C の信号を 20 db 下げます。
- 10 **VOLUME** ノブはモニター A、B、C に送られる信号の音量を調整します。これは RECORDING 出力、PHONES、STUDIO 出力に送られる信号のボリュームには影響しません。
- 11 **MUTE** スイッチはモニター A、B、C 出力に送られる信号をミュートします。
- 12 **MONO** スイッチはモニター A、B、C 出力へのステレオ入力信号をモノラル信号に変換します。
- 13 **PHONES/STUDIO** スイッチは PHONES、STUDIO 出力に供給される信号を入力ソース、MONITOR MIX INPUT 間で変更します。
- 14 **HEADPHONE** (ヘッドフォン) ジャック
- 15 **PHONES** ボリューム調整ノブ
- 16 **ON** ボタンは信号を STUDIO OUT 端子に切り替えます。
- 17 **STUDIO OUT** ボリュームノブは STUDIO OUT 端子に接続されたスピーカーのボリュームを調整します。
- 18 コンピューターと CONTROL2USB を接続するための **USB** 端子は 2 イン / 2 アウトのサウンドカードとして機能します。
- 19 **2-TRACK A +4/-10** (2トラック A +4/-10) レベルスイッチ 業務用機器標準の +4 dB と、一般消費者向け標準のアンバランス -10 dB とを切り替えます。2-TRACK B (2トラック B)、DAW 出力、PHONES (フォン)、MONITOR MIX (モニターミックス) 入力および INPUTS (入力) 1、2 および 3 も同様です。
- 20 **STUDIO OUT** トリムノブにて STUDIO OUT 端子から送られる信号を調整します。
- 21 **TRIM** トリムコントロールノブは入力信号の入力感度を ± 10 dB 調節します。(INPUTS 2、3、4 同様)
- 22 バランスまたはアンバランスのステレオ信号を接続するための **INPUT 1** 端子です。モノラル信号を1入力のみ接続している場合は、信号は自動的に左右にルーティングされます。(INPUTS 2、3 同様)
- 23 手元操作用のトークバックマイクのスイッチを **TALKBACK FOOTSW** 入力端子に接続できます。スイッチがアクティブなときに、トークバック回路は三つの RECORDING 出力 (2-TRACK A、B、DAW)、PHONES/STUDIO 出力、両 PHONES 出力へつながります。
- 24 **LINE/PHONO** (ライン / フォノ) スイッチ 入力ソースを (アンバランス) ラインとフォノ・レベルの間で切り替えます。
- 25 グランドネジ (**GND**) にレコードプレーヤーに付属のアース線を接続して下さい。
- 26 **INPUT 4** (入力 4) ステレオ RCA 入力として、またはフォノグラフ、他のステレオ・ライン信号の接続に使用します。
- 27 **MONITORMIX INPUT** は DAW からのステレオミックス別回線の接続を可能にします。
- 28 **STUDIO OUT** 端子はレコーディングスペース用にモニタリングやトークバック用のスピーカーを接続します。
- 29 ヘッドフォンアンプ等を接続するための **PHONES** 出力端子です。
- 30 **2-TRACK A** 出力端子は外部録音機器等 (2-TRACK B、DAW 出力同様) にバランスまたはアンバランス ステレオ信号を送ります。
- 31 **MONITOR OUT A** 出力端子はパッシブスピーカーを駆動するためのアンプや、パワードスピーカーを接続します。(B、C 同様)
- 32 **MONITOR A** トリムノブは MONITOR A 出力信号を民生向け -10 dB からプロ向けの +4 dB の間で出力を調整します。これにより 3 つのモニター出力のバランスをとることができます (B、C 同様)。
- 33 付属の IEC コネクタとこの AC ソケットを接続します。
- 34 **POWER** スイッチは機器の電源をオン / オフにします。オフ (スタンバイ) の状態では、回路がまだ生きています。完全に電源を断るには AC 電源から電源コードを取り外します。

XENYX CONTROL2USB はじめに

JP

ステップ 3: はじめに

- 1 背面パネルの電源ボタンを押して、OFF ポジションにします。
- 2 全てのボリュームとレベルノブ (上部および背面パネル) を左へ回し切ります。
- 3 全ての SOURCE SELECT、MONITOR SELECT 及びルーティングスイッチを OUT の位置に設定します。
- 4 付属の電源ケーブルを背面パネルのコネクターに接続します。
- 5 DAW (デジタルオーディオワークステーション) のオーディオインターフェイスからのオーディオ出力を MONITOR MIX INPUT に接続します。
- 6 MONITOR OUT 端子 A、B、および C にパワーアンプ+パッシブスピーカーもしくはアクティブモニタースピーカーを接続します。
- 7 もしあなたがスタジオスペースを持っているなら、別セットのパワードスピーカーもしくはアンプ+パッシブスピーカーを STUDIO OUT 端子へ接続することができます。
- 8 PHONES 出力端子にヘッドフォンアンプ等を接続します。
- 9 INPUTS 1-4 から送信された信号の録音用に、2-TRACK A および B 出力に外部録音機器を接続します。
- 10 INPUTS 1-4 からの録音信号を DAW 出力端子のレコーディングインターフェイス入力へ接続します。

- 11 INPUT 1、2 と 4 は、お使いのコンピュータにステレオ信号として内部の USB オーディオインターフェイスを介し、個別もしくはミックスして (SOURCE SELECT スイッチの位置に応じて) 記録することができます。INPUT 3 からの信号は USB 経由で録音することができませんが、SOURCE SELECT 3 を押した場合は、お使いのコンピュータからのステレオプレイバック信号を聞くことができます。この機能により、フィードバックループを気にすることなくコンピュータで“録音しながら再生”が可能です。オーディオ信号が背面のライン入力へ来ている時に 1、2、または 4 と一緒に 3 を押すとこれらの信号はミックスされます。USB オーディオ・インターフェイスはクラス・コンプライアントで、また ASIO ドライバーによる超低レイテンシーでの使用も可能です。(例: ASIO4ALL-behringer.com よりリンクをご利用いただけます)。



フィードバックループ

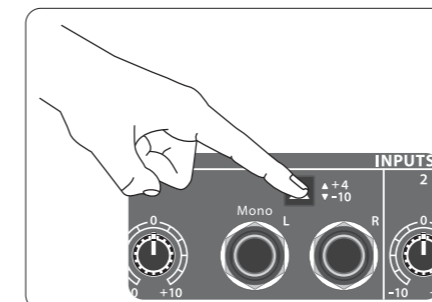
フィードバックループによって録音した DAW 信号と重なる現象がダブリング効果となります。もし、このダブリング効果が起こったときは、録音した信号のモニタリング出力がオフになるように DAW の設定を変更してください。

レベルのセッティング:

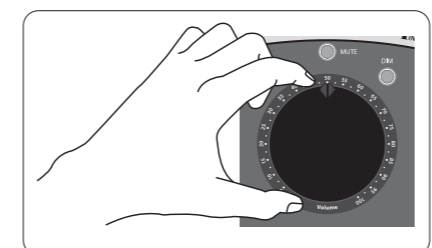
- 1 すべての外部ソースが絞りがけられたまたは OFF になった状態で、POWER ボタンを押して ON の位置にします。
- 2 外部のパワードスピーカー、パッシブスピーカー+アンプ、及びヘッドホンアンプを ON にします。
- 3 聞きたいモニターソースをトップパネル上の A、B または C ボタンで押すことによって選択します。
- 4 DAW の曲を再生してモニターレベルを調整します。必要に応じてリアパネルのモニターアウトのトリムレベルつまみを調整します。

- 5 背面パネルのトリムノブを使用して、選択した入力チャンネルのゲインを調整します。トップパネルのレベルメーターを見ながら、必要なゲインの量を調節します。

- 6 サウンドカードからの出力の種類 (プロ向けの +4 dBu またはコンシューマー向けの -10 dBV) によっては、入出力のレベルスイッチを設定する必要があります。



- 7 ゆっくりと VOLUME ノブを回します。音量が思っていたよりも低い場合は、選択された (A、B または C) のモニターオプションをトリムノブで調整します。



- 8 PHONES 出力端子に接続されたヘッドフォンアンプを使用している場合は、機器側の入力レベルスイッチを適した入力レベルに設定して、徐々に適切なレベルにヘッドフォンアンプのボリュームを上げます。

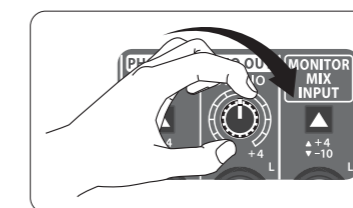
- 9 ユニット前面の各 PHONES 端子は独自のボリュームコントロールを持っています。PHONES 入力端子のいずれかにヘッドフォンを接続し、好みの音量に調整します。

- 10 DAW もしくは外部機器の録音レベルを設定するには、トップパネルで送信したい入力ソースを選択します。(突発的なフィードバックループを回避するため他の入力ソースの選択を解除します)。背面パネルの RECORDING OUT へ DAW オーディオ・インターフェイスもしくは外部機器に接続し、+4/-10 スイッチで出力レベルを設定します。

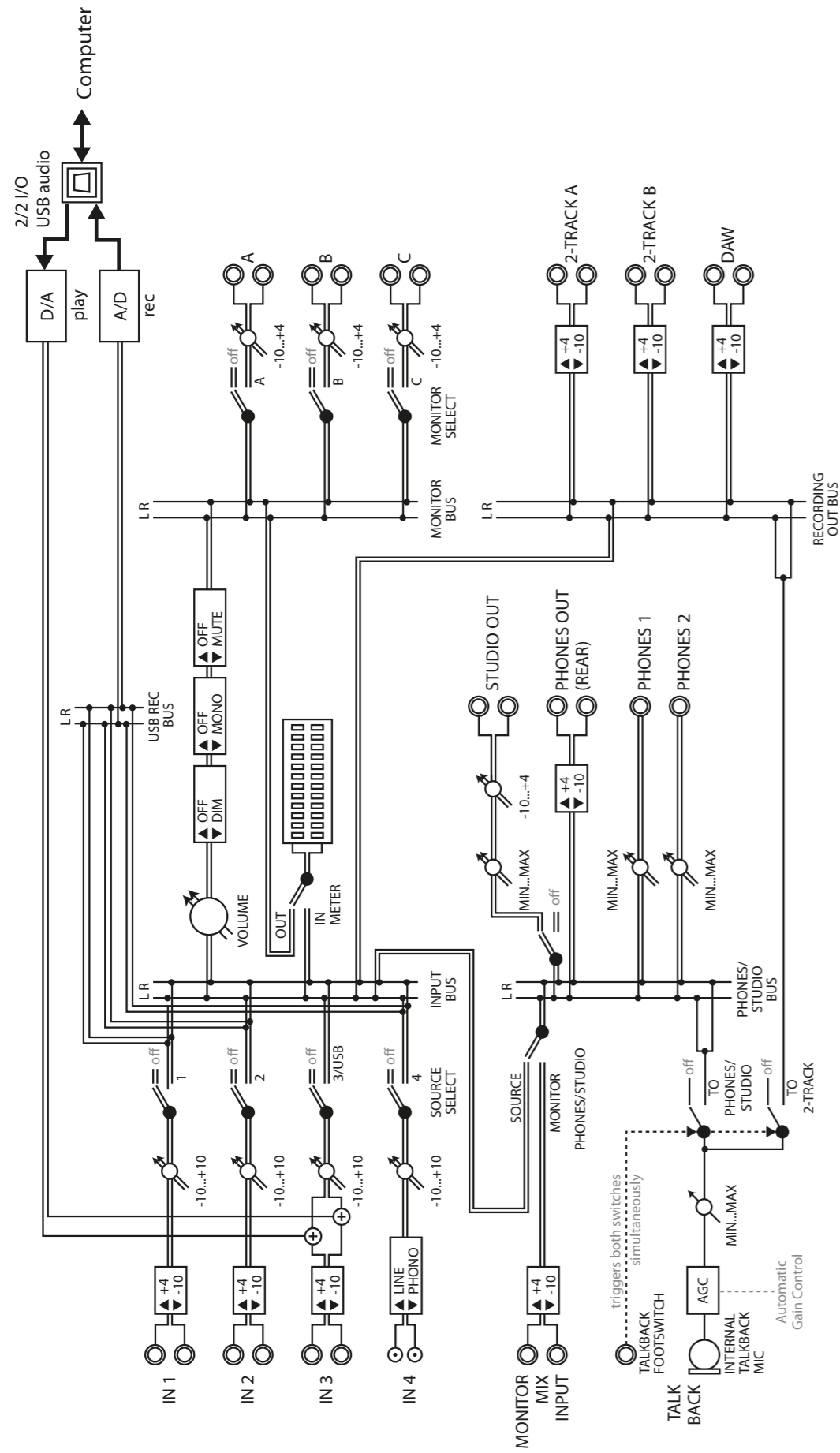
- 11 レコード入力のレベルを調整するには、表面パネルの SOURCE SELECT セクションの 4 を押します。後部の LINE/PHONO スイッチが PHONO に設定してあることを確認してください。レコードプレーヤーで再生を開始し、入力 4 のトリムレベル (背面パネル) で適正レベルに調節してください。VOLUME ノブで最終的な調整をします。

- 12 内蔵の TALKBACK マイク信号は、RECORDING OUT 出力 (2-TRACK A、B および DAW) または PHONES/STUDIO OUT 出力 (前面パネルのヘッドフォン出力両方を含む) にルーティングすることができます。ボタンを押してマイクに向かいアサイン先へ話してください。TALKBACK ノブで信号の調整が行えます。

- 13 STUDIO OUT ジャックに接続されたスピーカーのボリュームを調節するには、前面パネル上で STUDIO OUT ノブを時計周りに回してください。スピーカーがより大きな信号を必要とする場合は、背面パネルの STUDIO トリムノブを調節してください。



XENYX CONTROL2USB Block Diagram



JP 技術仕様

JP

周波数応答

ラインレベルの入力と出力

1/4" ジャック、バランス型またはアンバランス型	10 Hz ~ 40 kHz (+0 dB / -1 dB)
フォノ入力	20 Hz ~ 20 kHz (±1 dB)

歪み (THD & IMD)

ラインレベル入力からラインレベル出力へ (ユニティゲイン)	<0.02 %、20 Hz ~ 20 kHz @ +4 dBu
フォノ入力	<0.10 %、20 Hz ~ 20 kHz @ +4 dBu

ノイズフロア

入力 1、2 および 3 が割り当てられたユニティゲイン	-86 dBu、20 Hz ~ 20 kHz
モニター A、B、C 出力、スタジオ出力、DAW、2トラック A&B 出力	-90 dBu、20 Hz ~ 20 kHz
フォノ入力	-75 dBu、20 Hz ~ 20 kHz
等価入力ノイズ (EIN)	-119 dBu、20 Hz ~ 20 kHz

ダイナミックレンジ

ライン入力	107 dB
フォノ入力	88 dB

クロストーク

隣接する入力	95 dB @ 1 kHz
左から右 / 右から左	85 dB @ 1 kHz
ミュート / レベルオフ	95 dB @ 1 kHz

制御範囲

入力レベル	±10 dB
出力レベル	-12 dB ~ 0 dB
薄暗いスイッチ	0 dB / -20 dB

定格入力電圧

ライン入力 (+4 dB レベル設定)	+4 dBu / +30 dBu (公称 / 最大)
ライン入力 (-10 dB レベル設定)	-10 dBu / +15 dBu (公称 / 最大)
フォノ入力 @ 1 kHz、公称ゲイン	5 mV / 90 mV (公称 / 最大)

定格出力電圧

すべてのラインレベル出力 (+4 dB レベル設定)	+4 dBu / +21 dBu (公称 / 最大)
すべてのラインレベル出力 (-10 dB レベル設定)	-10 dBu / +8 dBu (公称 / 最大)

最大電圧利得

1、2、3を次のように入力します。

A、B、C 出力を監視する	+32 dB
DAW、2トラック A & B、および電話 (リア) 出力	+22 dB
スタジオ出力	32 dB
電話 1 および 2 の出力	32 dB (出力負荷 @ 100 kΩ)

ミックス入力を監視します。

電話 (リア) 出力	12 dB
スタジオ出力	22 dB
電話 1 および 2 の出力	22 dB (出力負荷 @ 100 kΩ)

フォノ入力 @ 1 kHz から:

A、B、C 出力を監視する	65 dB
DAW、2トラック A & B、および電話 (リア) 出力	55 dB
スタジオ出力	66 dB
電話 1 および 2 の出力	66 dB (出力負荷 @ 100 kΩ)

入力インピーダンス

ライン入力	20 kΩ 平衡 / 14 kΩ 不平衡
フォノ入力	40 kΩ

出力インピーダンス

ライン出力	200 Ω 平衡 / 100 Ω 不平衡
ヘッドホン出力	50 Ω

入力 / 出力 VU メーター

12 セグメント LED	CLIP、+10、+7、+4、+2、0、-2、-4、-7、-10、-20、-30 dB
--------------	---

トーンバックセクション

自動利得制御 (AGC)	はい
公称出力レベル	+4 dBu (+4 dB 出力レベル設定)
出力レベル範囲	-∞ ~ +10 dB

電源 / 電圧 (ヒューズ)

主電源電圧	100-240 V ~、50/60 Hz
ヒューズ	T 1AH 250 V
消費電力	15 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル

USB

オーディオ	ステレオイン/アウト
コネクタ	タイプ B
サンプルレート	44.1 / 48 kHz

寸法/重量

寸法 (H x W x D)	87 x 389 x 198 mm (3.4 x 15.3 x 7.8")
重量	2.4 kg (5.3 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You